



つなごう輝く潤いの明日へ  
＝未来へつなぐ霞ヶ浦導水事業＝

編集・発行  
国土交通省霞ヶ浦導水工事事務所

## 霞ヶ浦導水の施設をご紹介します

霞ヶ浦導水事業は、利根川と霞ヶ浦、霞ヶ浦と那珂川を地下トンネルで結び、水を相互にやりとりすることで、大きく以下3つに貢献します。

- ①利根川下流部や那珂川下流部の水不足の軽減
- ②新規都市用水（工業用水、水道用水）の確保
- ③霞ヶ浦と桜川等の水質浄化

霞ヶ浦へ水を導水したり、霞ヶ浦から送水するために、巨大なポンプがあります。今回は、霞ヶ浦と那珂川の導送水に必要な「那珂機場」について紹介します。

### 「那珂機場」ってどんな施設？

那珂機場は、水戸市渡里町の那珂川沿いにある、取水・放流口です。最大15m<sup>3</sup>/秒の水を巨大なポンプを使って霞ヶ浦に送ることができます。

※家庭の水道は、0.0003m<sup>3</sup>/秒くらいです。

逆に、霞ヶ浦の水を那珂樋管をとおして那珂川へ放流します。



霞ヶ浦導水事業について詳しくはこちら！



①那珂樋管



那珂川の水を取水、霞ヶ浦の水を放流します

②沈砂地

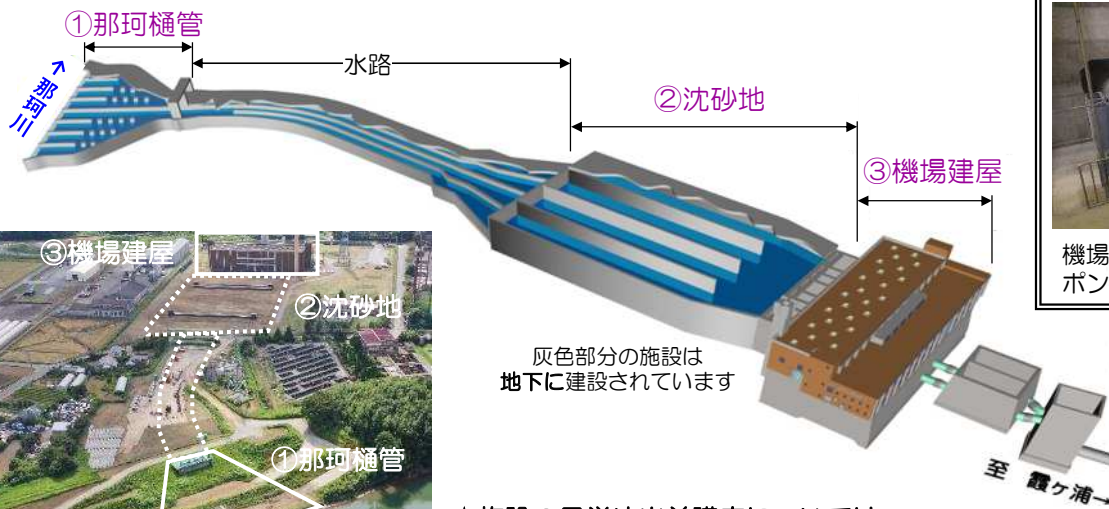


砂やゴミなどを落とします

③機場建屋



ポンプやポンプの操作室があります



機場建屋の地下に巨大なポンプがあります（見学できます）

灰色部分の施設は地下に建設されています

☆施設の見学や出前講座についてはお気軽にご連絡・ご相談ください。

[https://www.ktr.mlit.go.jp/dousui/dousui\\_index004.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/dousui/dousui_index004.html)

4月に特撮テレビドラマの撮影がありました📷

☆「那珂機場」がいばらきロケ地マップ（vol.15）に掲載されました！神秘的な沈砂地、巨大な地下空間が、映画やテレビのロケ地で利用されています。

☆「Ibaraki Location Movie」で那珂機場が紹介されているのでご覧下さい！



※写真は昨年12月に撮影されたものです。



# 霞ヶ浦をキレイにする取組(53Pick up! 春の陣)

第50回記念

○「霞ヶ浦クリーン大作戦53 Pick Up! 春の陣」が  
開催されました。(5月8日(日))

今回は第50回記念ということで、第1回が開催された土浦新港での開催となりました。当日はお天気にもめぐまれ、参加者386名、また、土浦市長も参加され、みなさんの霞ヶ浦に対する意識の高さが伺えました。

今回回収されたゴミは、2,020 kg

この活動がより多くの方に認知され、捨てられるゴミが少しでも減っていくことを願います。



●主催者のNPO水辺基盤協会の  
ホームページはこちら

<https://www.npo-mizube.jp/>



## 🔪 NPO水辺基盤協会代表 吉田幸二 様に伺いました

★霞ヶ浦クリーン大作戦 第50回を迎えられたお気持ちをお聞かせください。

1995年2月にスタートしたこの活動は、年二回の開催なので、2020年5月に50回を達成できたはすなのですが、コロナ禍で中止を余儀なくされ、2年延長の今回、50回を達成することができました。  
27年掛かりました。

25年以上にわたって霞ヶ浦の清掃活動をしていると、時代時代でゴミが変遷していることが分かります。初期の頃は車や古着、パチンコ台などが多かったのですが、リサイクル法の発布で家電製品が増え、デジタル化の推進でブラウン管テレビが増えました。最近ではPC関係も多く投棄されています。

また、東日本大震災時には、被災した家屋のガラや壊れた日用品の投棄が増え、コロナ禍においては自宅の整理をする時間が増えたせいも、家庭用品の湖岸への廃棄が増えました。人々の心が荒むにつれて、霞ヶ浦へのゴミの投棄が増える… そんな気がしました。

しかし、ゴミは確実に減っています。15年ほど前は10トンのコンテナにゴミが積みきれず、2往復してもらったことがありました。現在では10トン車に満載になるくらいの量で済んでいます。

50回を達成したことについては、ご支援いただく皆様、参加者の皆様など多くの方々のご協力があればこそであります。また、5年ほど前からこの清掃活動の運営を53実行委員会にお任せしています。委員の皆様  
のアイディアや運営能力に益々期待しております。

50回はひとつの節目であり、皆様が一丸となって次の50回。そう100回に向かってくれれば嬉しいかぎりです。一番大事なことは、清掃活動をしない環境なら良いのですが、浜の真砂は尽きるとも、世にポイ捨ての種は尽きまじ…

辛く悲しく淋しい活動ですが、捨てる人がいる限り拾い続けることが大切なのです。

★今後の展望をお聞かせください。

公共の場にゴミをポイ捨てして行く人は、なかなかなくなりません。ですが、人間の善を信じればキレイな所にゴミを捨てないのです。つまり、霞ヶ浦を含めた公共の場にゴミがなければ、多くの方が邪な気持ちにはならないと言うことです。

つまり、捨てる人が先か拾う人が先かの問題ですね。霞ヶ浦の湖岸を散歩している人やサイクリングの人、それに釣り人の皆さんたちが、落ちていたゴミを拾うことで「ゴミを残しちゃいけないんだ。」という気持ちになってくれれば、ゴミは必然的に減少していくはずですよ。

受益者負担という考えを持つことで、霞ヶ浦を楽しんでいる皆さんは、霞ヶ浦への恩返しということでゴミ拾いくらいはできるはずですよ。霞ヶ浦を思い、愛し、慈しむ気持ちを多くの皆さんと共有し、ゴミのない霞ヶ浦にしたいと考えています。



NPO水辺基盤協会  
吉田代表

吉田代表  
ありがとうございました

## ✂ 編集後記 ✂

「霞ヶ浦導水だより」をお読み頂きありがとうございます。霞ヶ浦のゴミ拾いイベントは50回を達成され、ゴミのない霞ヶ浦のためにご尽力されています。本広報誌も今号で10号となりました。より多くの方に霞ヶ浦導水事業を知っていただけるよう、今後もさまざまな情報をお届けして参ります。

国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦導水工事事務所  
〒300-0812 茨城県土浦市下高津2-1-3  
電話 029(822)3007



導水カードも配布  
しています!

配布先はこちら↓

配布時間:  
・平日8:30~17:15  
配布場所:  
・霞ヶ浦導水工事事務所  
・那珂機場

